（第二種郵便物認可）　大正四年五月十九日　上毛新聞　第八千七百四十七號　水曜日　（三）

秦宮内親王の御慶事

嚠喨の樂音宮苑の空に響き 海内皆な千代の御緣を壽ぐ

今十八日は秦宮職ご親王殿下ご成人の日に当せらるるを以て御慶事の為め久邇宮殿下との御結婚式を宮中賢所大前に於て行はせらるゝ日にして八時式部職出仕し御殿の裝飾を整へ仕て間も無く閑院宮載仁親王同妃智恵子殿下以下在京各宮殿下を始め奉り大山内大臣以下各大勲位大臣首相以下各閣員大臣波多野宮相貴族院議長以下顯官何れも麗服以下顯官何れも參集す駕して東久邇宮殿下は御冠帯の御服装にて御馬車を駕して賢所に御參入あらせられ又秦宮殿下には御同じく廟布陽なる東久邇宮御邸に御出ましあらせられ御手に檜扇を捧じたまへる御參入あらせられ御手に檜扇を捧じたまへる御參入あらせられ御歌式を行はせられ御盃を交はせられ御式終て御殿に御